



## 「関西ブロック安全大会2017」開催

“「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ！”

—NTTグループと通信建設会社による合同開催—



情報通信エンジニアリング協会 関西支部

### はじめに

2017年12月14日、NTT西日本研修センター（大阪市都島区）において、「関西ブロック安全大会2017」が関西エリアのNTTグループ5社、通信建設会社5社、ITEA関西支部の計11社により合同開催されました。

開催の目的は、職場における労働災害防止施策の一環として、NTTグループと通信建設会社で発生した重大事故をリアルに再現し、事故の恐ろしさ・悲惨さを再認識し啓発するとともに、実際に疑似体験することによって事故の再発防止を図ることです。

開会にあたりNTT西日本 関西事業本部長 岸本照之様（写真1）から、「今年のこの安全大会において、「オール事故0」に向けて、頑張っていこう！」との決意をしたにもかかわらず、関西では所外系、所内系の事故が発生し、全国では我々の仲間の尊い命を亡くす、もしくは作業事故、交通事故で怪我を負う悲しい事故が頻

発してしまっ。事故の原因としては、過信や作業を急ぐせり、また基本動作を忘れてしまったようなところが見受けられた。本日は、事故事例の再現や体感、各社の安全ツール展示、交通安全、労働衛生の取り組みを紹介しているので、参加者が幅広く勉強し、その経験を自分の言葉で各職場で説明していただき、これから1年間、オール事故「0」を目指していただきたい。

今一度、全員が原点に立ち帰り、基本動作の徹底を一層進めて、動作手順、作業手順を考え、「“オール事故0”を絶対守り抜く」という強い意志を持って取り組んでいきたい。」との開会挨拶がありました。

また、ITEA関西支部 高島支部長（写真2）から「本日は、年一回このように通信設備を作り守る仲間が集まって、足元を見つめ、固め直す非常に重要な大会である。事故は、なかなか「0」にはならないが、業界一丸となって、「0災で行こう」を目標として頑張っている。武道では「守破離」と言われるが、安全に関しては、



写真1 開会挨拶  
岸本NTT西日本 関西事業本部長



写真2 開会挨拶  
高島ITEA関西支部長



写真3 安全宣言  
NTTネオメイト関西支店 三宅 正修  
ミライト 西日本支店 井上 清孝

「基本を守るしかない」と強く感じている。また、「木は天辺から枯れる」という言葉もあり、トップが安全に対して、しっかりとした意識を持って取り組んで行かなければならないと思っている。私自身もこの大会を機に今一度足元から、しっかりと見つめ直し、今後の安全に対して、前に向かって取り組んでいきたい。

本日この大会に参加の皆様も、この機に「安全とは何なのか？」をもう一度考え、明日からの取組みにつなげていただきたい。」との開会の挨拶がありました。引き続き演習スタッフ2名（写真3）による安全宣言があり、安全大会が開始されました。

## 大会の実施内容

大会では、事故の恐ろしさ・悲惨さを疑似体験するため、NTTグループ・通信建設会社で発生した「事故再現」、事故の衝撃を体

感する「危険体感」、また安全意識を高める場となるよう交通安全、労働衛生に関する「講習・実演」、「展示」など参加型項目を中心に表1の内容で実施しました（表2-1～3）は、実施内容の詳細）。

表1 実施内容

	作業安全	交通安全・労働衛生 他
事故再現	<事故再現演習+基本作業実演> ①電柱からの転落事故 ②開通工事における転落事故	
危険体感	<危険体感研修> ③昇柱作業転落衝撃体感 ④引込線張力反動衝撃体感 ⑤根入れ不足電柱昇降時の共倒体感 ⑥高所作業車逸走危険体感 ⑦脚立からの転落衝撃体感 ⑧バックホウ死角体感	<その他の危険体感> ⑨電気の怖さ体感／地絡事故再現 ⑩脚立の安全対策／二重床の危険 ⑪バーチャルリアリティ危険体感（梯子作業） ⑫スマートアシスト（衝突回避支援システム）の体感試乗
講習・実演	○所内系作業に潜む危険（ビデオ上映）	⑬ストップ危険運転～からだチェックで健康改善
	⑭講演会「事故を起こさないための集中力の高め方」 講師：株式会社プロスタッフ 佐藤 浩 様	
展示	⑮～⑲ 安全作業用各種ツール等（関西 通建各社） ⑳～㉔ 各種装具類（各メーカー）	⑳ 飛込まれ防止対策（信号方式） ㉑ 移動電源車 ㉒ 安全装置搭載車 ㉓ ステレオ計測システム他 ㉔ 技術協力センタ開発品

表2-1 実施内容の詳細（事故再現、危険体感）

事故再現	①電柱からの転落事故 光ケーブルを架渉中、バケット車を使用せず、ベルブロックで昇柱し、柱上で体勢を変える際、ベルブロックを外し、無ロープ状態になったため、電柱から転落し死亡した。	②開通工事における転落事故 光開通工事で、道路を横断してケーブルを新設する際に、ケーブルを持ち、脚立を利用して昇柱する途中、走行してきた車両をガードマンが制止しきれず、車両とケーブルが接触し、脚立より転落、死亡した。		
	 	 		
危険体感	③昇柱作業転落衝撃体感 	④引込線張力反動衝撃体感 	⑤電柱昇降時の共倒体感 	⑥高所作業車逸走危険体感 

表2-2 実施内容の詳細（危険体感、講習・実演、展示）

危険体感	<p>⑦ 脚立からの転落衝撃体感</p> 	<p>⑧ バックホウ死角体感</p> 	<p>⑨ 電気の怖さ／地絡事故</p> 	<p>⑩ 脚立の安全／二重床</p> 	
	<p>⑪ バーチャルリアリティ</p> 	<p>⑫ スマートアシスト車試乗</p> 	<p>危険体感研修の事前説明模様</p> 		
	<p>⑬ ストップ危険運転～からだチェック</p> 	<p>⑭ 講演会「事故を起こさないための集中力の高め方」佐藤 浩様</p> 			
	<p>講習・実演</p>				
展示	<p>⑮ サバイバル電源</p> 	<p>⑯ 吊下げ式工事看板</p> 	<p>⑰ 橋梁添架設備調査用ツール</p> 	<p>⑱ 車両飛込まれ警告システム</p> 	<p>⑲ コンパクトスライドバー</p> 
	<p>⑳ 自在バンド用保護カバー・接地マット</p> 	<p>㉑ 脚立用転落防止セーフティライダー</p> 	<p>㉒ 止水材・LED使用の安全器具</p> 	<p>㉓ ベルブロック（墜落時ぶら下がり体験）</p> 	<p>㉔ 電柱防護シート・ラインサポーター</p> 
	<p>㉕ カラーコーン用立体表示カバー</p> 	<p>㉖ 通信工事向け高所作業車</p> 	<p>㉗ ドローン・橋梁点検カメラ</p> 	<p>㉘ i エスパー・ライトエスパー</p> 	<p>㉙ 災害・非常用電池</p> 

表2-3 実施内容の詳細 (展示)

展 示	③⑩ 光ファイバ融着器 	③① 外壁配線用通線器 	③② 安全靴・ヘルメット・防寒服 	③③ 鳥害対策品 	③④ 細径単独用 コンクリート継柱 
	③⑤ 扉付バケット車・ ハイブリッド穴掘建柱車 	③⑥ レンタルサービス・ 商品 	③⑦ 安全衛生図書 	③⑧ 吊線点検支援シス テム・水中点検カメラ 	③⑨ アウトリガー一体式 脚立・梯子 
	④① 飛込まれ防止対策 (セーフティ信号方式) 	④② 移動電源車 	④③ 安全装置搭載車 	④④ ステレオ計測 システム 	④⑤ 技術協力センタ 開発品 

## おわりに

閉会にあたり、NTTネオメイト関西支店長 奥野順也様 (写真4) から「本日の大会で実施した死亡事故の再現や電柱落下・感電などの体感コーナーで強く感じたことは「怖さ」であった。慣れややるべきことができていることで起こる事故も「怖さ」を感じて作業に臨めば事故は減るのではないかと考える。また、本日の事故

再現や体感を各自の作業時に思い出し、危険予知につなげて、これからも安全作業を実践していただきたい。」と閉会の挨拶があり、全員で安全スローガンの唱和を行いました (写真5・6)。

今回の大会を契機として、「人身事故」「設備事故」「交通事故」が防止され、NTT様はもとより、お客様に対して「きっちり工事」が届けられる通信建設業界を目指すことを誓い合い閉会しました。

本大会に大変お忙しい中ご出席いただきましたご来賓・NTTグループの皆様にご感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係各位に対して心からお礼申し上げます。

表3 大会概要

開催日時	平成29年12月14日 9:00~16:30
場所	NTT西日本研修センター (大阪市都島区) PRISM1階カンファレンスルーム、 屋外研修フィールド、雨天実習棟 他



写真4 閉会挨拶  
奥野NTTネオメイト関西支店長



写真5 閉会式模様



写真6 安全スローガン唱和  
NTTフィールドテクノ  
関西支店 神品 麻史  
日本コムシスNTT事業部 伊佐地 史朗